

エルロードボランティア便り



皆さまの暖かいご支援によりまして、エルロードボランティアとしての活動も大きく進んでおります。ここで現状を報告させていただきます。

◎ 学びだした子供たち

写真でご承知のように、私たち一人ひとりの愛の行為が実を結びネパールにて立派な学校、作業所が完成し、感謝いたしております。

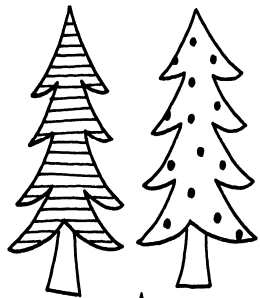
私たちが携わってきた学校は、村人の希望により、英語等を取り入れた国際的視野を持つ学校運営をめざしており、夏に訪れたときは、実際、制服姿の子供たちが、算数、英語、国語などを学んでおりました。

1人の児童が前に出て黒板の文字を棒で指しながら、大きな声で読み上げているのが印象的でした。その後を皆がもっと大きな声を出しながら一緒に読んでいました。すぐ寄ってくる子、はにかむ子、教科書やノートを見せに来る子などいろいろですが、どの子も笑顔を浮かべ、学校生活を楽しんでいる様子が感じられました。

ボランティアをとの呼びかけに共感する人たちが、協力しあいながらでき上がった学校で、学ぶ子供たちの朗らかな姿を、目の当たりにみますと、なんと素晴らしい活動に参加させていただいたことかを感じ、喜びと感謝の思いがわき上がってまいりました。皆様もご自分のまかれた種その後の様子を見に行ってみられてはいかがでしょうか！

◎ ネパールは、これから観光シーズンに入ります、ポカラ市はネパール第2の都市でトレッキングの拠点ですので、日本からも大勢の人が来ます。11月からは天気も

安定しトレッキングの案内人は、何カ月かで1年分を働くそうです。しかし雨季には年間降雨量の7割ぐらいが集中的に降りますので、ラマチョーの学校へ行く道は、崖け崩れが起きたり、道路は水が溢れて川のようになり、道が無くなってしまいます。水の引いた後は土が流され、石だけがごろごろしてひどい道になってしまいますが、日本から皆さんが来てくださるのを、子供たちや村人がとても喜んで迎えてくれます。



◎ 里親制度の開始

学校に入学しても、親の生活が苦しく、援助が必要な児童もあります、このため安心して学校に通ってもらえるように、9月より里親制度を皆様をお願いすることにいたしました。現在のところ11名の里親希望を頂き、ありがとうございます。

◎ ポカラ駐在員の滞在先が変わりました。

言葉や生活習慣の全く違う場所で活動しているため、昨年8月から長期滞在してくださっている岩下さんが、現在も続いて頑張って活躍してくださっています。レース編みを教え、村人の意識の改革に取り組んでこられた大内さんが再度、現在も滞在しておられます。

いままではホテル滞在でしたが、現在は空港の近くの一軒家を借りて生活を始めております。個室やシャワー・トイレ・食堂なども整備され、皆様がおいでになっても部屋代が無料で宿泊できます。ぜひご利用頂けますようご案内申し上げます。

◎ バザー

バザーにつきましては、広島、九州の方々、たびたび開いて下さっております。最初、広島の方々の熱心なフリーマーケットの便りに触発されその輪が福岡、関東に拡がり、ネパールの子供たちへの思いが膨らみました。その福岡、広島のお便りを、今回はお伝えできず不行き届きをお詫び申し上げます。

次号にてお知らせできますよう、ご協力をお願い申しあげます。

1997年9月および1998年9月に藤沢市民バザーに参加いたしました。本年は車を乗り入れ、駐車場でのバザーでした。あいにく午後より雨が降り始める空模様でしたが、男性2名が参加してくださり車の荷台にビニールシート等で屋根を作ってください、心強い味方を得て、楽しく終えることができました。

ラマチョーの女性の編んだレース編みを、すてきな香り袋又、テーブルセンターとして再加工をくださり、また広島的女性によってメッセージを添えてとてもすてきな製品にしていた

だき、ネパールの紹介をいたしました。みんなで力を合わせる大切さと愛の行為の素晴らしさを見せていただきました。たくさんの品物のご提供ありがとうございました。なお、ラマチョーの女性達に完成品としての香り袋が届けられております。



編集後記

発行が大変遅れてしまい申し訳ありませんでした。これより以降は、年2回の発行を予定しております。これからも、皆様のご意見、ご希望、原稿等をお寄せくださいますよう、お願いいたします。



エルロードボランティア
〒243-0406
神奈川県海老名市国分北2-17-16
Tel 0462-33-4500
Fax 0462-33-2111
担当 山梨 陶山 岩田